

日本の環境首都コンテスト2009 長野県千曲市 八幡小学校が入賞



先進事例特別表彰

棚田のある風土と文化を学ぶ八幡小学校

【ポイント】

- 棚田のオーナー制を活用
- 稲作を通して、棚田の機能について学ぶとともに、昔の暮らし方を調査
- 子どもたちが自分たちにできることを考える
- ESD(持続可能な開発のための教育)の要素が盛り込まれている
- 八幡小学校の取り組みは、理科教育にとどまらず、地域文化の継承や、ライフスタイルの見直しといったESD(持続可能な開発のための教育)の要素を取り込んだものとして評価されました。



大空にむかって

田植えに参加しました！！

6月1日、日曜日。雨天の合間の素晴らしい天気の中、棚田へ田植えに行ってきました。

当日はソフトボールの県大会と重なり、参加できない子もいましたが、44名が元気に参加しました。田植えは初めて、という子も大勢いましたが、名月会の渡辺さんや市川さんのご指導のもと、上手に田植えができました。1時間ほどで合計10枚の田んぼに稲がきれいに並びました。

当日は八幡小以外のオーナーの方もたくさん来て、田植えに励んでいました。また、その様子取材に来たマスコミもたくさんいました。中には、テレビ局や新聞社の取材を受けている子もいました。

保護者のみなさんにも大勢応援に駆けつけていただきありがとうございました。O君のおうちからは、子どもたち全員にアメの差し入れをいただきました。ありがとうございました。





大空にむかって

収穫の喜び～稲刈りが終わりました！～

6月1日に棚田に植えた苗がすくすくと育ち、2回の草取りを経て、ようやく収穫の時を迎えました。先週の木曜日には名月会の渡辺すみ子さんに来ていただき、稲刈りの仕方や稲のしぼり方、はぜかけの仕方など、子どもたちに指導をしていただきました。

その甲斐あって、火曜日の稲刈りには自分からすすんで稲を刈り、稲を束ね、はぜかけをしていく姿が見られました。また8名のお父さんお母さん方にもお手伝いいただき、大変助かりました。





大空にむかって

NO. 26

H20. 10. 16

千曲市立八幡小学校

5学年

収穫の喜び～脱穀が終わりました！～

10月12日は晴天に恵まれて、脱穀が行われました。

名月会の方で脱穀機械を出していただいたので、子どもたちは干してある稲の束を脱穀機まで運ぶ作業を行いました。機械を通り、籾がなくなったわらを田んぼへ運び、そしてまた稲の束を持っていきという作業の繰り返しでした。

はずかけから稲をおろしたり、脱穀機から出てきたわらを子どもにわたしたり、わらをきちんと積んだりする大変な作業をお父さんやお母さん方に手伝っていただいたおかげで、作業は1時間ほどで終了しました。帰り際に、小野さんのお宅から、おじいちゃん手作りのアメをいただき帰ってきました。



お米は、6袋にもなりました。これを精米し、収穫祭の時に餅にさせていただきます。



大空にもかかって

環境首都コンテストの表彰式がありました

今日は千曲市役所市長室にて「環境首都コンテスト」の表彰を受けてきました。

“先進事例特別表彰”という名目でした。副賞として全員にバンダナをいただきました。(ディズニーランドで使用するかも?)

コンテストの結果に恥じない環境保全の活動を今後もしていけるよう、子どもたちと共に務めたいと思います。



△環境市民 平田氏から子供たちに直接賞状が手渡されました。

棚田の四季



初夏・・・田植え



秋・・・稲刈り



冬・・・雪景色

姨捨棚田の美しい田園風景のなか 足元に咲く小さな植物たちも 心なごませます

▽棚田ビオトープ(千曲市希少種保全園)
千曲市では、平成20～22年度で市内
の生物調査を行い、「レッドデータブック
(希少動植物種調書)」を作成します。そ
れに伴い、市内で希少種と見られる植物
と、動物ではその餌となる植物をこの希少
種保全園に植え、実物を見るレッドデー
タブックとして自然学習に役立てます。



春



フキ



ウマノバナシ



ムラサキツメクサ



ホタルカサ



ムラサキヤマン



スギナ (ソクシ)



ガンノショウコ

夏



デンシソウ



オモダカ



ミスオオバコ



シロバナサクラタチ



コナギ



ミゾカクシ (アゼムシロ)



ワレモコウ



ウツボグサ



コウヤワラビ



コマツナギ



ノアザミ



ネシバナ



ノシトラノオ



チタケサシ



カワラバナシ



秋



カントウヨメナ



ノコンギク



チガヤ



ヨウシュヤマゴボウ



サワヒヨドリ



ヤブツルアズキ

種田は、市内でも有数の生態系の豊かな地です。種田という全体の景観、足元の一つ一つの植物に目を向けても大変魅力に満ちています。

「棚田貸します制度」(棚田オーナー制度)

	体験コース	保全コース
区画面積	概ね100m ² です。 棚田の形状がそれぞれ違いますので多少前後します。 1組で2～3枚の田を管理していただく場合があります。	※保全コース会員専用の区画(個人単位)はありません。
会員料金	300円/m ² ×区画面積です。(面積に応じて料金が変わります。) 概ね30,000円～40,000円です。	一律 30,000円です。
収穫したお米	会員さんにお持ち帰りいただきます。 100m ² (約30坪)当たりの収穫高は <u>玄米</u> 約50kg程度です。(目安) ★収穫高は目安ですので保証はできません	<u>玄米</u> 20kgをお送り致します。

田毎の月

芭蕉「おもかげや 姥ひとりなく 月の友」

古今和歌集「わが心なぐさめかねつさらしなや姨捨山にてる月をみて」

昔から月の名所だったようです。



環境絵本「てんぐやまのあんずまる」より



△姨捨夜景



△長楽寺観音堂と紅葉



△田ごしらえ



△姪石全景



△姨捨駅